

ProRelease ヘッドラインモジュール(PHP タイプ)

2008年5月23日

導入

手順1：設定

RssParser 内の rss.php をテキストエディタで開き、ヘッドラインモジュールの設定を行います。

(先頭に#または//が付いている設定は例となります)

\$rss

プロリリースの RSS が設置されている URL を記述します。

設定する値は http:// から入力してください。

例： \$rss = 'http://example.com/xml-rss2.php';

\$article

表示する記事の種類を選択できます。

一般の記事を表示する場合は 0 を。モバイルの記事を表示する場合は 1 を設定してください。

\$type

ヘッドラインの文字コードを指定します。

Shift_JIS の場合は 1

EUC-JP の場合は 2

UTF-8 の場合は 3

を指定してください。

ヘッドラインが文字化けを起こしている場合、この設定が正しくない可能性があります。

\$count

表示するヘッドラインの記事数を指定します。

1 以上の数値を指定してください。

template

使用するテンプレートのファイル名を入力してください。

パスを記述する必要はありません。

テンプレートファイルは RssParser/rss_pro/templates フォルダに御座います。

設定後、上書き保存を行ってください。

手順2：モジュールの設置

してインターネットで閲覧できる場所(ドキュメントルート以下)に RssParser をアップロードしてください。

設置が完了しましたら以下のディレクトリ(フォルダ)のパーミッション(アクセス権限)を 777 に設定してください。

RssParser/rss_pro/templates

RssParser/rss_pro/cache

手順3：タグ埋め込み

ヘッドラインを表示したい HTML ファイルを FTP などダウンロードして以下のタグをヘッドライン表示したい箇所に埋め込んでください。

```
<!--#include virtual = "/RssParser/rss.php"-->
```

(タグ内の/RssParser/rss.php はお客様が設置した RssParser 内の rss.php への絶対パスに変更してください)

埋め込みましたら保存後、HTML ファイルをアップロードしてください。

(このとき rss.php とのパス関係を崩さないよう、ご注意ください)

手順4：表示確認

WEB ブラウザ(Internet Explorer など)でタグを埋め込んだ HTML ファイルへアクセスし、正しくヘッドラインが表示されていれば設置完了です。

表示されない場合は下記の注意をご確認ください。

注意：

以下の状況では正しく動作しない可能性が御座います。

- ・ SSI が使用できない環境又は導入するファイルの拡張子が SSI に対応してない環境。
(この場合、タグがそのままページ閲覧時に表示されてしまうのでご注意ください)
- ・ 表示する記事が一件もない。
(この場合、メンテナンス中のため、しばらくお待ち下さい。 と表示されます)
- ・ RSS の URL が正しくない。
- ・ rss.php へのファイルパスが正しくない(この場合、SSI のエラーが表示されます)。

フォーマット

デフォルト設定：

デフォルトでヘッドラインモジュールは 1 記事に対し、以下のフォーマットで表示します。

```
<dl><dt><span class="date">日付</span>
```

```
<span class="category">カテゴリ</span></dt>
```

```
<dd><a href="http://www.hostpro.ne.jp/news2/index.php?itemid=1">記事タイトル</a></dd></dl>
```

編集方法：

フォーマットの変更を行いたい場合はテンプレートファイルを編集してください。

記事のフォーマットはテンプレート内の `{foreach from=$data item=item}` と `{/foreach}` の間に記述します。

このスペースには以下の変数を埋め込むことができます。

変数名	内容
<code>{item.link}</code>	記事の URL
<code>{item.title}</code>	記事のタイトル
<code>{item.description}</code>	記事の本文
<code>{item.pubdate}</code>	記事の公開日
<code>{item.category}</code>	記事のカテゴリ
<code>{item.comments}</code>	記事のコメント

`{* }` と `{* }` で囲まれたスペースは出力に含まれません。コメントなどにご利用ください。

`{else}` と `{/if}` の間は記事が取得できなかった場合に表示する内容となります。

編集時の注意点：

テンプレートは括弧記号 `{ }` で表示を制御しております。

この括弧のタグを改変、削除した場合正しく表示されない可能性がありますのでご注意ください。

また、テンプレートファイル内で括弧記号 `{ }` を使用する場合は括弧を `{literal}` と `{/literal}` で囲む必要が御座います。

例：`<style>{literal}* {margin:0px;} {/literal}</style>`

テンプレートは EUC-JP という文字コードで記述されておりますので、EUC-JP に対応したテキストエディタを使用する必要が御座います。